

有形文化財 工芸品／県指定

えむかえほんじんのらでんざいく「ちんすいしや」つけたり ゆらいしよいつつ

江迎本陣の螺鈿細工「枕水舎」附 由来書一通



平戸藩第10代藩主の松浦熙公は命名した「枕水舎」について、その名を自ら書き、螺鈿細工にしている。公は能筆家としても著名で、特に江戸勘定流の大家とされ、自ら藩内各所にその痕跡を残している。この螺鈿細工「枕水舎」も松浦熙公が自ら書いたもので、特に中央の「水」の最下端部には、水が滴る様子も文字で表現されている。

螺鈿細工「枕水舎」は外区横78cm、縦47cmを測り、大型のものである。裏面には天保3年（1832）の年号とともに、松浦熙公の銘も残る。当時、松浦熙公は長崎検閲のために長崎に居住していたこともあり、その際に螺鈿細工職人に製作を依頼した可能性が高い。

長崎における螺鈿細工技術は、17世紀前半に中国から伝来したと記され、長崎の漆工生島藤七や長兵衛の名が表れている。1653年11月21日のオランダ商館日記の記事からは、オランダ人の注文で漆器が一部製作されていたことも窺い知れ、17世紀中頃には商品として確立している。

しかし、螺鈿細工「枕水舎」のような藩主が自ら書いた文字に螺鈿細工を行い、かつ銘と製作時期が明確な資料はなく、長崎県内唯一の美術工芸品である。

住 佐世保市江迎町長坂209ほか

TEL 0956-65-2209 潜龍酒造株

P あり

交 西肥バス 浄念寺前

案 予約制／電話にて事前連絡。

見学時間／9:00～16:00

本陣屋敷／大人100円・団体20名以上で一人50円、中学生以下は無料

休 年末年始、お盆

